

もの知り こどもタイムズ

さばく みどり いしゃ なかむら てつ せんせい ものがたり 砂漠を緑にかえたお医者さん 中村哲先生の物語



用水路のおかげで、くだものもとれるようになり、市場はカラフルになりました

中村哲先生がアフガニスタンにきて20年以上がすぎ、70歳になるころには、みんなで協力してつくったマルワリード用水路のおかげで、村の畑には水が行き渡るようになっていました。アフガニスタンの主食は「ナン」というパンです。材料の小麦がたくさん育つとおいしいナンがたくさん焼きました。大根やキャベツ、オレンジやスイカもとれるようになりました。もともと砂漠だった場所も緑に生まれ変わったので、地元の人たちは大よろこびしました。用水路のおかげで人々がくらせるようになった土地は1万6500ヘクタール。福岡市の半分くらいの広さです。ふるさとを離れていた人、食べ物に困っていた人など、60万人の人が安心してこの場所にすめるようになったのです。マルワリード用水路の長さは今、27km。西鉄天神大牟田線の福岡(天神)駅から小郡駅までのきより(28・7km)と同じくらいです。アフガニスタンには今もまだ、水がなくて困っている場所がたくさんあります。中村先生が亡くなったあとも用水路づくりは続いています。

水のめぐみ 畑に

「パンがたくさん焼ける」 (70歳)



食卓にはナンやご飯、サラダ、スープが並ぶようになりました。畑でとれた小麦や野菜をたっぷり使った食事です

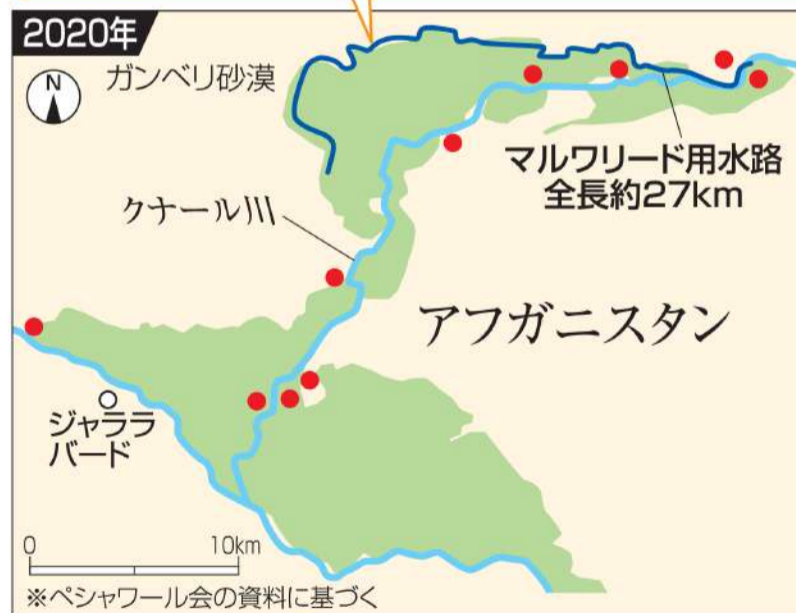
アフガニスタンの人が大好きなバラの花。うしろには畑仕事をしているおじさんが見えます



用水路のおかげで畑だけでなく、田んぼも増えはじめています。人々は田植え仕事にいそがしそうです =PMS提供



草も生えなかった土地が畑になり、野菜が元気に育つようになりました



● 川の水を取り込む堰
用水路や堰のおかげで水がひかれ、野菜やくだものが育つようになった土地

特別サイトに子ども向けページ

西日本新聞の「中村哲医師特別サイト」の子ども向けページができました。アフガニスタンの子どもたちの写真などを見ることができます。